安積二小だより

郡山市立安積第二小学校
学 校 便 り　No.１６
令和７年　９月　４日
文責：校長 齋 藤 和 彦

創立 150 周年　「花と緑と思いやり　ひとみ輝く　二小の子」

１１月１日（土）『創立 150 周年記念式典』に向けて

本校創立 150 周年を迎える今年度。５月の運動会閉会式では,サプライズ！バルーンリリースにて,夢と希望をのせた七色の風船 150 個が,子ども達の手を離れ..大空へ舞いました。

１１月１日（土）には,『創立 150 周年記念式典』を開催します。[※午前中に設定します]【第一部】では,140 周年以降の歴代 PTA 会長様,校長先生方,地域の皆様を来賓としてお招きして,感謝の意をお伝えする式典を行います。(現在の在校児童保護者の皆様にもご案内します)【第二部】は,全校児童による創立 150 周年を祝うアトラクションを予定しています。

○ビックアート披露 (全校アート作品) ○豊田太鼓 (復刻版) ○全校合唱 ○150th 応援 等々を子ども達の手で創りあげる取組を進めています。５.６年生から実行委員を選出して,計画や全校への呼びかけ等を通して,150 周年以降へも安積二小の歴史を継承していく姿（継承と創造）をも築いていきたいと考えています。

～もしかしたら..この子達が大人になって..PTA 役員さんとして..180 周年企画会議に足を運んでいるかもしれません。。。

◆◇ 校長室から ◇◆

～視覚支援学校の寄宿舎で～

私が大学生の時..,色々なアルバイトをしました。(とんかつ屋/宅配便の仕分け/スイミング教室/芝刈り作業等々..) この他に視覚支援学校の寄宿舎で,夕方から翌日朝までの生活補助をするというアルバイトを経験しました。

(目の不自由な小学部から中学部までの児童生徒が親元を離れて通学するための寄宿舎でした)

夕方まで宿題や遊びの補助..食事..入浴の補助という仕事でしたが,驚いたことにそこでの私の出番はほとんどありませんでした。～小学部低学年の子も「大きくなって自分でできるようにならないといけないから,自分でします。」～はっきりと,皆こう言います。

ご飯は,ひとつの器におかずも混ぜ混ぜして..スプーンで食べるのが好きでした。

お風呂のお湯と水の調節レバーも交互に上手に押して,ちょうどいい湯にできます。

中学部の生徒は常備灯の中で遅くまで勉強しました。「将来は鍼灸師になる」とまっ白で分厚い点字の問題集に向き合っていました。(数人がいる学習室ですが,しんと静まり返って..カチカチと点字を打つ音だけ。)

部屋に近づくと,シューズの足音で「齋藤先生ですね」と,いつも先に当てられました。→

→　ある日,小学部の子達が学校から帰ってきて,一緒にキックベースボールをしました。

中に鈴が入ったボールを転がします。

ストライクの幅は２m位だったか..。

キャッチャーはその幅を使って,手を３回たたいて,ピッチャーにサインを出します。

鈴の音がシャンシャンと鳴ってボールが転がってきます。子ども達はひと蹴りで上手にボールにヒットします。転がるボールの音がとまる前にキャッチしたら「アウト！」です。

子ども達が先生方と考えたルールです。

私も蹴らせてもらいました(目をつむって)が何度やっても当たりません。※子ども達が残念がるかな..と,うす目を開けてヒットを打ったこともありました。(▼ズルです..)

聴覚障がいがあるスポーツ選手の世界大会『デフリンピック』が１１月開幕です！

選手の皆さんの耳には,努力してきた人にしかきこえないであろう..観客の大歓声がはっきりと..きこえることでしょう。

(きこえるに違いない..そう願いたい)

あの時の子は，鍼灸師になれただろうか？

数々の困難を乗り超えて,がんばって努力してきた人にしか見ることのできない景色が,きっと..みえているにちがいない。